

Bモデル 事例1：話すこと【やり取り】・質疑応答

1 単元の目標

日常的な話題（観光等における地域のおすすめスポット）について、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うことができる。

2 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うために必要となる語彙や表現を理解している。 ・日常的な話題（観光等における地域のおすすめスポット）について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う技能を身に付けている。 	<p>自分の考えをよく理解してもらえるように、相手の質問に応じながら、日常的な話題（観光等における地域のおすすめスポット）について、情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを活用して、理由とともに話して伝え合っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをよく理解してもらえるように、相手の質問に応じながら、日常的な話題（観光等における地域のおすすめスポット）について、情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを活用して、理由とともに話して伝え合おうとしている。 ・自分の取組を確認・分析し、自分のパフォーマンスを改善しようとしている。

3 テストについて

(1) 場所

廊下又は別教室

(2) 内容

新しく赴任したALTに、自分の地域のおすすめスポットを伝え、質問に答えよう

(3) 準備物

- ・タブレット端末等の録画機器
- ・タイマー
- ・採点用紙【資料1】

(4) 所要時間等

- ・1人当たり5分程度
- ・1クラス（20）人当たり2単位時間（50分×2）程度での実施を想定

(5) 方法

〈事前の準備〉

- ・同じ科目を担当する教師と採点方法を確認する。採点例を作成し、事前に採点の目線合わせやシミュレーションを行う。
- ・長い沈黙がある場合等の対処方法を決めておく。
- ・テストの内容や実施方法を確認し、生徒と共有する。

- ① 新しく赴任したALTが、地域のおすすめスポットを知りたいと思っている。
- ② 最初に、30秒程度で、地域のおすすめスポットを紹介する。
- ③ あなたの紹介の後、ALTは付加情報を得るためにいくつか質問をするので、それに答える。

〈テスト当日の流れ〉

- ・生徒は一人ずつALTとのテストを受ける。
- ・テストを受ける際に、別の生徒がパフォーマンスをタブレット端末等で録画する。
※相手にしっかりと伝え、音声を十分に拾えるように、はっきりと大きな声で話すよう事前に指導しておく。
- ・テストを受ける生徒と録画する生徒以外の生徒は教室で待つ。
- ・挨拶等の簡単なやりとりを行う。
- ・おすすめするスポットを紹介する。
- ・紹介の内容について、ALTが質問し、生徒が答える。

〈採点〉

- ・ALTはその場で採点を行う。
- ・録画した動画はGoogle Classroomで提出する。なお、自分の取組のよかった点や改善点などについて振り返りを入力する。
- ・教師は提出された動画を基に採点を行う。

(6) 採点の基準

次の基準によって評価する。「思考・判断・表現」については、二つの条件をどちらも満たしていれば「b」（おおむね満足できる）としている。【資料2】

- 条件1：ALTの求める情報を、的確に伝えられている。
条件2：おすすめするスポットの魅力が伝わるように表現している。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	ALTの質問を速やかに理解し、質問に対し、適切な語彙や表現で丁寧に多くの情報を回答している。	二つの条件を満たした上で、おすすめスポットの情報や魅力を自分なりに根拠立てて伝えることで、相手が興味をもてるように話して伝え合っている。	二つの条件を満たした上で、おすすめスポットの情報や魅力を自分なりに根拠立てて伝えることで、相手が興味をもてるように話して伝え合おうとしている。
b	ALTの質問をおおむね理解し、理解に支障のない程度の語彙や表現で情報を回答している。	二つの条件を満たして話して伝え合っている。	二つの条件を満たして話して伝え合おうとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

※本事例では、「話すこと[やり取り]」の評価を行うこととし、地域のおすすめスポットの紹介自体は評価の対象としていないが、評価基準を追加して評価を行うことも可能である。

4 テストまでの指導について

目標設定と共有

- ・単元の目標と評価規準を生徒と共有する。
- ・パフォーマンステストの内容と採点の基準を生徒と共有する。
 - ①屋久島を紹介する教科書本文から、その場所を説明するための語彙や表現などを身に付けよう。
 - ②あるスポットについて、よりよく伝えるためにはどんな情報を説明すればよいかを考えながら、教科書本文を読んで理解しよう。
 - ③新しく赴任したALTの先生に地域のおすすめのスポットを英語で話して伝えよう。

授業での活動（10時間程度の授業を想定）

- ・各Partの文章について、語彙や表現の学習、音読活動等を通して、内容理解や定着を図る。（8時間）
- ・紹介するスポットを決定し、タブレット端末等での情報を収集・分析した後、紹介文を書く。（1時間）
- ・Padlet（情報共有アプリ）で他の生徒と情報共有し、グループでどんな情報を質問されるかを複数で予想して質問し合い、パフォーマンステスト本番の質疑応答に向けて備える。（1時間）

指導上の留意点

- ・ALTからの質問は、What, When, Where, Who, How で始まる質問の他に、“Why do you think so?”などの“Because ～.”の形式で回答できるものを加えるようにする。
- ・Padletを使用する場面については、事前にどのような質問をされるのかを他の生徒と協力して回答できるようにすることがねらいであるため、今回は生徒の実態に応じて、日本語でアイデアを整理し、最終的に考えたものを英語で回答できるようにする流れとしている。

5 フィードバック

- ・生徒は、課題提出時に、本単元での自分自身の取組について、振り返りを行う。Google Classroomを用いて、パフォーマンスの映像と同時に、それらの振り返りも含めて、フィードバックを行う。

【資料 1】採点用紙の例

Requirement 1 :You convey the information recommended by ALT accurately.

Requirement 2 : You express in a way that conveys the charm of the recommended spots.

Class/ No	Name	Knowledge / Skills	Ability to think, make decisions, express oneself	Attitude toward self-directed learning	Comment
A1	Hokkai Taro	A・B・C	A・B・C	A・B・C	
A2	Hokkai Jiro	A・B・C	A・B・C	A・B・C	
A3	Hokkai Saburo	A・B・C	A・B・C	A・B・C	
A4	Hokkai Shiro	A・B・C	A・B・C	A・B・C	
Criteria		(B)He/She understands most of the ALT's questions and answers information. (A)much, quickly	(B)He/She meets two requirements. (A)to get ALT interested, He/She talks logically.	(B)He/She tries to meet two requirements. (A)to get ALT interested, He/She tries to talk logically.	

【資料 2】生徒の発話及び採点の結果の例 ※文法の誤り等を含む

【生徒Aとのやり取り】

T : Where is the crape shop?

A : It is in the station street, by the ○○ book store. You can walk there.

T : Which flavor is recommended?

A : I think chocolate is the best. It is very sweet. Chocolate cream is very delicious. Please try it.

(6) 採点の基準に沿って、全ての観点で「a」と評価した。

【生徒Bとのやり取り】

T : Where is the crape shop?

B : It is station street.

T : Which flavor is recommended?

B : I like chocolate.

T : Why do you like it?

B : It's delicious.

(6) 採点の基準に沿って、全ての観点で「b」と評価した。

【生徒Cとのやり取り】

T : Where is the crape shop?

B : mmm, I don't know. There.

T : Which flavor is recommended?

B : Flavor is delicious.

(6) 採点の基準に沿って、全ての観点で「c」と評価した。